

今年度2回目！

“終活” についての研修会を開催しました

令和2年2月1日（土）、耶馬溪公民館（サニーホール）にて、「あなたにとっての“終活” 考えてみませんか？」を開催しました。この研修会は、市民後見推進事業と在宅医療・介護連携推進事業と協働で実施し、当日は、予想を超える約120名の方に参加いただきました。

研修会では、合同会社ソーシャルサポート月光 代表 社会福祉士・上級終活カウンセラー 松尾 慶一氏に、終活の意味やその社会背景、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）という考え方や成年後見制度等、実体験を交えながら分かりやすく説明していただきました。途中、エンディングノートの作成体験も行い、参加者の方々それぞれが、自身のこれからのことを真剣に考えながら取り組まれていました。

事後アンケートでは、「自分が亡くなった後のことをきちんと伝えるためにも、エンディングノートの必要性を改めて実感しました。」、「看取りについて意向はあったけど伝えていなかったもので、今度話そうかと思います。」との声もいただき、今後の研修会の開催に反映していきます。

※市民後見推進事業は、成年後見制度や市民後見人の養成・活動など、権利擁護に関する制度の普及啓発や地域での仕組みづくりを行う事業です。その一環として、毎年研修会も開催しています。

※在宅医療・介護連携推進事業は、医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者の在宅療養生活を支援するため、切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供 体制の構築を推進する事業です。地域包括支援センターでは高齢者やその家族からの相談の受付、支援等を行います



ソーシャルサポート月光 代表 松尾慶一氏



エンディングノート作成体験